

# 川島小学校・くぬぎ台小学校 小規模校対策検討委員会ニュース

発行日：平成23年12月7日

発行：検討委員会事務局

## 第4回検討委員会 開催

☆平成23年11月14日(月)19時00分から  
くぬぎ台小学校・コミュニティハウスにて  
検討委員33名中24名出席

### 第4回検討委員会

#### 「議題」

- (1)くぬぎ台小学校保護者アンケート結果報告について
- (2)統合時期について (次回以降に持ち越しました)
- (3)通学区の調整について (次回以降に持ち越しました)
- (4)学校名について
  - ・学校名アンケート結果 (次回以降に持ち越しました)
- (5)第5回検討委員会の検討内容について



### 確認事項

- 統合に対する不安を解消するため、交流等を通じてお互いを理解する機会を設ける。
- 統合校への通学安全について、両校の関係者に想定される通学路を実際に歩いて点検してもらい、危険な場所や改善が必要な場所を検討委員会に意見として提出してもらう。
- 両校の交流や統合校の教育コンセプトについて、教育委員会を含む両校で検討して検討委員会に報告する。

## 川島小学校のアンケート結果

配付296世帯 回収273世帯 (回収率92.2%) + 教職員22人  
(8月29日配付 9月2日提出締切)

第3回検討委員会ニュースに掲載しなかった、アンケート内容と集計結果について掲載します。なお、川島小学校のアンケートは、第3回検討委員会開催前に実施されたため、統合校の設置場所に関する設問があります。  
(設問2～4については教職員へのアンケート結果を含む数となっています。)

1. お子さんの学年 (複数回答可、無回答あり、分母は学年別児童数)  
1年：47/54 2年：40/49 3年：58/69 4年：53/61 5年：64/67 6年：74/78
2. 統合校の設置場所について (※統合校の設置場所が決定する前に実施したアンケートです)  
川島小を希望：286 くぬぎ台小を希望：1 どちらでも：5 無記入：3
3. 統合の時期について  
過去の事例として、1年目に検討委員会設立、教育長に申請、2年目に両校交流、3年目に統合というようになっているようです。上記のスケジュールの場合、再来年の平成25年に統合となりますが、その対応に賛成ですか？  
賛成：218 反対：44 どちらともいえない：23 無記入：10
4. 統合校の校名について  
新しい校名：24 川島小：250 どちらでもよい：17 無記入：4

## 1 くぬぎ台小学校のアンケート結果について

配付121世帯 回収119世帯 (回収率98.3%)  
(9月27日配付 10月3日提出締切)

1. お子さんの学年 (複数回答可、無回答あり、分母は学年別児童数)  
1年：27/28 2年：19/21 3年：28/30 4年：22/25 5年：20/22 6年：29/35
2. 統合の時期について  
過去の事例として、1年目に検討委員会設立、教育長に申請、2年目に両校交流、3年目に統合というようになっているようです。上記のスケジュールの場合、再来年の平成25年に統合となりますが、その対応に賛成ですか？  
賛成：63 反対：36 どちらともいえない：8 無記入：12
3. 統合校の校名について  
新しい校名：87 くぬぎ台小：10 川島小：15 無記入：7
4. 統合校の校歌、校章について  
新しいものを作成：88 既存のものを使用：22 無記入：9
5. 統合校が川島小学校の施設を利用することとなりました。通学校を選択できるとしたらどの学校に通いたいですか。  
※あくまでも意識調査であり通学校を保証するものではありません。  
統合校：26 鶴ヶ峯小：44 市沢小：27 複数：10 無回答：12

## 【くぬぎ台小学校のアンケートの自由意見欄でいただいた、教育委員会への要望についての回答】

- ☆ 子どもの精神面が心配なので、くぬぎ台小の先生を統合校にも配属してほしい。  
→ 統合時の児童への配慮は、大変重要であると考えております。統合校の教職員配置については関係部署と調整してまいります。
- ☆ 川島小の位置が我々の生活圏外にある。教育委員会は研究不足なのではないか。  
→ 川島小の主な利用が西谷駅で、くぬぎ台小の主な利用が鶴ヶ峰駅ということは理解していますが、施設状況や通学距離等、総合的に判断しました。
- ☆ 通学路の整備を教育委員会が早急に責任を持って最後までやってほしい。それが終わってからの統合でいい。  
→ 通学路については、今後の検討委員会の中で、安全面を考慮しながら点検を行い、危険箇所等については改善が図れるように検討してまいります。
- ☆ 通学校の選択について、地域などは関係なく選ばせてほしい。  
→ 横浜市は住所によって通学する学校が決まっています。今回は、くぬぎ台小学校・川島小学校の小規模校対策として検討委員会が設置されています。そのため、学区はくぬぎ台小学校と川島小学校を合わせたものになりますので、原則として学区により決められた学校に通っていただくことになります。
- ☆ 川島小の施設を使うのにあたり、保護者が見学してその意見を聞く機会を作ってほしい。  
→ 今後、両校の交流の中で保護者の学校見学の機会を設けていく予定です。
- ☆ 川島小学校の様子を知りたい。  
→ 川島小の小池校長先生から、「いつでも様子を見に来て欲しい。事前連絡もいらないので、職員室に一声かけてくれれば自由に見学してかまわない」と言ってもらっていますので、ぜひ見に行ってください。

## 検討委員会での主な発言等

### 【くぬぎ台小学校のアンケートについて】

- ☆ くぬぎ台小のアンケートの設問4、5について、川島小のアンケートとは違う新しい設問が増えているのはどのような理由でなのでしょう。  
→ 設問4は、校名が変わるなら、校歌・校章も変わるであろうと思っの設問になります。  
設問5については、くぬぎ台小の1回目のアンケートの時に、保護者から、こういう内容を聞いてほしいという要望がありました。1回目のアンケートの時は、統合について何も決まっていなかったため、今回設問しました。
- ☆ くぬぎ台小のアンケートの設問5の結果は、くぬぎ台小の保護者の本当の気持ちが出たのではないかと思う。検討委員会では、川島小とくぬぎ台小の統合について検討していて、統合後の使用施設は川島小を使いましょうと確認したが、学区内の再編というのが意識されていなかったため、このような結果が出てしまったのではないのでしょうか。  
→ 保護者が検討委員会の流れを詳細に理解していない状況で、回答をしたのだと思います。くぬぎ台小の子どもたちは、統合校として使用する川島小に通うという気持ちからアンケートに答えてくれたと思われます。あくまでも、意識調査であって、数字通りの結果になるとは思っていません。  
→ くぬぎ台地域の通勤や生活の動線が、鶴ヶ峰駅へと向かうコースだからこういう結果になったのではないだろうか。
- ☆ 今回のくぬぎ台小のアンケートを見て川島小の関係者は結構衝撃を受けている。すべての希望をかなえることはできないが、ある程度の希望をかなえてあげられるのであれば、それも悪いことではないのではないか。くぬぎ台小の周りには3つの小学校があるので、それぞれの学校に行きたいというのを地域ごとに調整してもらい、それぞれの学校に行くことについて話をしていくのが受入れる側としてもスムーズにやっていけるのではないか。  
→ 今回は、川島小とくぬぎ台小の小規模対策です。それを周辺の他の小学校にも拡大してしまうと、この先、川島小が小規模校となってしまふ可能性があります。  
→ 現在の両校の状況は、くぬぎ台小は単級で、これからも児童数は減っていきます。川島小も、今は12学級で適正規模ですが、今後児童数はどんどん減っていきます。将来的な事を考えると、両校の子どもたちの教育環境を向上させる必要があります。また、これまでの検討委員会の内容や結果が十分に保護者に伝わっていないと感じていますので、保護者を対象とした、検討委員会の説明をする機会を設けていきたいと考えています。
- ☆ 市沢小や鶴ヶ峰小も、くぬぎ台小の小規模対策の対象校として、この検討委員会で検討するのか。  
→ あくまでもこの検討委員会で検討していただく内容は、川島小とくぬぎ台小のことで。基本的には、2つの学区を合わせた新しい学校をつくるということです。
- ☆ 現実に、市沢小や鶴ヶ峰小に通っている子どもはいるので、事情のある人に対しては何らかの緩和措置をとることはできないか。  
→ 保護者の事情を配慮して、周辺校へも行けるようにすることについては、今後、検討委員会で検討していきます。
- ☆ 検討委員会の説明会を開催し保護者に説明していくということだが、両校で行ってもらえるのか。また、その時に、どうしたら両校が統合した後に上手くいくのかについても、話をしてほしい。  
→ くぬぎ台小の方からご要望があり、日程をいただいておりますが、川島小からもご要望がありましたら、説明を行ってまいります。また、両校の保護者が双方の学校についてわかり合える機会を作っていただければと考えています。  
→ 保護者や子どもたちが、相互交流をし、学校を含めた当事者同士が徹底的に話し合い、お互いに納得のいく結論を得る必要があると思います。

- ・川島小では、検討委員会に応じて、報告という形で手紙と意見交換会を開いています。その中で「西谷中で一緒になる子たちだから早く友達になってもいいんじゃないか」とか「くぬぎ台小の方が負担が大きいからできる限りのことはしたい」、「交流をもっと増やしていきたい」という発言があり、前向きに考えてきたつもりだったので、このアンケート結果は衝撃でした。

### 【地域の考え方の違いについて】

- ・お互いに、客観的に物事を考えた方がいいのではないか。両校の子どもたちが減っていくという事実について、将来どうやって自分の子どもたちを育てていったらいいのか、という視点で徹底的に議論すべきです。
- ・色々な人の話を聞いて心強く思っています。今の状況がわからないまま統合してしまい、学校現場に頑張れというのは難しいことだと思います。地域性もあるので、くぬぎ台小のアンケート結果は自然の流れだと思います。くぬぎ台小の保護者の不安について、時間をかけて洗い出し、話し合う機会をいただければと思います。そんな中で、「川島小はこんな風に待っていてくれるんだ」とか「教育委員会はこういったバックアップをしてくれるんだ」ということで、その不安を解決していく、こういう体制でやっていくから学校も頑張ってもらいたいという流れになればと思うので、そのための時間をいただけたらと思います。
- ・保護者の意見は大事だけど、その世代だけの意見で全部決まってしまうのもどうかと思います。統合校に行きたい人が26人なのに、統合校の校名や校歌・校章は新しいものの方がいいという人が87人、88人います。市沢小や鶴ヶ峯小にも子どもたちが行くのであれば、そちらとの検討も必要になるのではないのでしょうか。基本的な考え方を見直さなければ話の溝は埋まらないと思うので、再検討してもいいのではないのでしょうか。
- ・それぞれの地域のことだけを考えて意見を出してしまったら、対等という立場はなくなってしまう。対等な立場で検討した結果として、名称がそのまま継続されるという事はあるかもしれないが、それありきで話を進めると今までの積み重ねたものが無意味なものになってしまうと思います。

### 【考え方の違いを解消するためにできること】

- ・現在学校に通っている子どもたちの立場で考えていかなければならないと思います。また、現在のことだけではなく、子どもたちが通っている学校の将来のことを視野に入れてもらいたいと思います。
- ・それぞれの学校とPTA、保護者が教育現場の中で当事者として話し合っていてほしい。地域としては、結論に対しては従うべきだし、不備な点・補足する点があったら前向きに応援していくつもりです。

### 【交流について】

- ・両校の保護者同士が話し合うのはいいことだと思います。西谷中ではみんな仲良くしていただけると信じている。親同士、小学校が生活圏にあるとか無いとか、色々な絡みがあるとあると思うが、今後交流していけばわかまよりも一つずつ無くなっていくと思います。
- ・統合していくことを前提とすると、子どもたちが納得するようにどのようにしていくのかを考えるのが基本だと思います。一か月ぐらい体験留学をしてみるとか、色々な交流の方法があると思います。また、保護者も学校見学ツアーのようなものをPTAで企画していただき、積極的に訪れていただければと考えています。できることは積極的に取り組んでいきたいと思っています。
- ・くぬぎ台小の校舎は使わないけど、くぬぎ台小に来てもらい、くぬぎ台小の子どもたちはこういうところで勉強しているのかという事を知ってもらえるのも大事だと思います。そういうところで平等感を感じます。それぞれの学校の歴史も地域の思いも伝わってきました。どちらの立場にも立ちながら、両校の子どもたちが統合後の学校で楽しくできるように時間を作っていければと思います。
- ・子ども同士が交流できれば、「どちらの学校が…」とか、「こちらの学校が…」とかは関係ないと思います。また、そういう機会をしっかり作ってあげられればと考えています。際限なく時間を使うことはできませんが、お互いに納得のいく結論を見いだせればと思います。それぞれの学校で十分交流をするという事は確認されましたので、ぜひ子どもたちが違和感なくお互いに友達同士になれるような機会を作りたいと思います。



**両校がお互いをよく知りあえるように、様々な取組を通じて交流を図ることが重要。**

## 通学路及び両校の交流について

### 【今後、以下の検討方法を実施していくことを確認しました。】

- 統合校への通学安全について、両校の関係者に想定される通学路を実際に歩いて点検してもらい、危険な場所や改善が必要な場所を検討委員会に意見として提出してもらう。
- 両校の交流や統合校の教育コンセプトについて、教育委員会を含む両校で検討して検討委員会に報告する。

## 第3回検討委員会以降にお寄せいただきましたご質問等について

### 〇ご質問

- ☆ 新基本方針は5月より前に設定されたものであるのに、事前打ち合わせの場においてなぜ「両校をいったん閉校し、新しい名称で新しい学校を誕生させる考え方である」という回答がなされたのでしょうか。また統合の基本的な考え方は第1回検討委員会までに確認されるべきものだと考えますが、第3回で確認を行なったとはどういうことなのか。
- ご質問にあるように「両校をいったん閉校し、新しい名称で新しい学校を誕生させる考え方」で統合するという内容での説明はしていませんでしたが、誤解を与えてしまったことは、申し訳ありませんでした。関係者との考え方の認識の共有が十分ではありませんでしたので、今後は、関係者と綿密な連携を図ってまいります。
- また、統合の基本的な考え方の確認については、第2回検討委員会で、学校統合を前提として検討を進めることが確認されましたので、第3回の検討委員会で確認をしていただきました。
- ☆ 学校名アンケートは多数票の意見がそのまま採用されるのか。または少数票の中からも広く検討されるのか。過去の事例においては既存の名称は使用しないことが確認されているものもあったようですが、これについても前例にとらわれず検討を進めるといふことなのか。
- 学校名については、アンケートの結果を参考に検討委員会で協議を行い決定します。多数票の意見がそのまま採用される訳ではありません。既存の名称（川島小学校・くぬぎ台小学校）についても、初めから使用しないということではなく、アンケートで応募があれば新校名の候補の一つとして検討してまいります。
- ☆ 新基本方針の統合の進め方において「保護者・地域住民の理解と協力が得られるよう…」と旧基本方針に無かった「保護者」の記載が追加されたにもかかわらず、川島小・くぬぎ台小の検討委員会は、過去の検討委員会よりもPTAの代表者の割合が少ないのはなぜでしょうか。
- 「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会の委員には、両小学校通学区域内のすべての自治会・町内会長に地域の代表として、また、それぞれの学校のPTA会長及び役員に保護者の代表として、検討委員に就任をお願いしております。両校の通学区域内の自治会・町内会数等を勘案した結果、保護者代表の検討委員の割合が少なくなっておりますが、新基本方針に掲げているように、保護者の皆様の理解と協力を得られるよう、努めてまいります。
- ☆ 新基本方針のどこを読めば「前例にとらわれず、様々な統合の形態について検討を行なっていく」という考え方につながるのか。
- 新基本方針に「前例にとらわれず、様々な統合の形態について検討していく」等、統合の検討方法については、ご指摘の通り記載されておりません。新基本方針では、統合の対象となる地域が従来と比較して格段に広がったため、今回の検討委員会では「統合についての考え方」の中で、「白紙から様々な形態について検討を行う」ことを確認していただきました。
- ☆ 旧基本方針での統合においては、学校が無くなるという厳しい現実の中、両校及び児童を平等に扱うという最低限の教育的配慮はなされていたと考えます。また新基本方針検討の中で小規模校対策について議論がされていますが、同様の考えが読み取れます。しかしながら今回の検討委員会では地域特性（学校の歴史の違い、地域活動の関係など）ばかりに配慮するあまり、負担が大きい児童への配慮が疎かになっているのではないかと。
- 統合時の児童への配慮は、大変重要であると考えており、統合前の児童同士の交流や、統合校の教職員配置の配慮等により児童の負担軽減に努めてまいります。
- ☆ 地域間で、統合の基本的な考え方に温度差があることは明らかで、両校の交流よりも前に解決しておくべきと思うが、具体的な方策としてどのようなものを考えているのか。
- 両校の保護者及び地域住民の皆様の間で、統合に対する考え方の違いについては、新校名のアンケート等で確認しております。特に保護者間の考え方の違いについては、今後の検討委員会の中で、対応について検討してまいります。
- ☆ 通学路になるであろう道の整備等をしっかりしてから統合の話を進めるべきなのではないか。
- 通学路については、今後の検討委員会の中で、安全面を考慮しながら点検を行い、危険箇所等については改善が図れるように検討してまいります。

### 「意見」

- ・検討委員会には代理を立てても出席していただきたい。
- ・「歴史がある」「親校である」等の理由だけで従来の学校名に拘ることは無いよう、負担の大きい子どもたちのことを最優先に考えて慎重に議論が行なわれることを期待しています。
- ・今回の統合は川島小においても大きな出来事のはずです。歴史を引き継いだまま「川島〇〇小学校」として合流するほうが自然で、受け入れやすく、両校の児童も希望をもって新しいスタートを切ることができるのではないのでしょうか。

### 【第5回検討委員会の日程】

★平成23年12月20日(火) 19時00分より 西谷中学校会議室にて

(検討予定内容)

1. 両校の交流について      2. 学校名アンケートについて      3. 通学安全について      4. その他



「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はホームページでもご覧いただけます。

・基本方針など <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/kyoiku-info/gakku-houshin.html>

・「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/>



「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会では、常に皆さまからのご意見を受付けております。FAXかEメールにて、事務局(学校計画課)までご連絡ください。

\*「川島小学校・くぬぎ台小学校」

小規模校対策検討委員会事務局 (学校計画課)

TEL:045-671-3252 FAX:045-651-1417

Eメール: [ky-hodogaya@city.yokohama.jp](mailto:ky-hodogaya@city.yokohama.jp)

